

組み立て式ホイールで ひとつ上のカスタム

1990年代にバジェロやサーフが市場をにぎわせたころ、クラッグブランドのすべてが3ピース構造だったことから「王者の凱旋」という意味を込めてネーミング。大幅なリフトアップや出幅の大きいオーバーフェンダーといった上級カスタムには欠かせない組み立て式ホイール。その理由は車高や車幅に合わせてミリ単位でインセットやリム幅を突き詰められるから。ディスクやリム、ピアスポルトなど幾通りもの組み合わせが可能なカスタムオーダープランも選べるのは、組み立て式ホイールに長けたワークならではだ。

ブラック
シャンファーマシニング

アウトドアが 楽しくなる足元

【サイズと価格】

16×5.5J	5万8300 (*1) / 6万9300円 (*2)
16×6.0J	5万9400 (*1) / 7万0400円 (*2)
16×6.5J	6万0500 (*1) / 7万1500円 (*2)
16×7.0J	6万1600 (*1) / 7万2600円 (*2)
16×7.5J	6万2700 (*1) / 7万3700円 (*2)
16×8.0J	6万3800 (*1) / 7万4800円 (*2)

*1: カットクリア、*2: ブラックシャンファーマシニング

カットクリア

そんなアウトドアで頼れる相棒を体
本格派にハマル足元

代表の谷口武さん。これまでジムニー一筋の人生を歩んできたのかと思いきや、意外にも前職はアウトドアインストラクター。大学時代は体育会系探検部に所属し、アウトドアアクティビティ、特にカヌーをはじめとした「川遊び」の達人でもある。谷口さんが代表に就いてから力を入れているのが、林道やオフロードコースを走って楽しむといった従来のジムニーの遊び方に加えて、アウトドアアクティビティの相棒に仕立てるためのオリジナルギアの提案だ。自身の豊富なアウトドア経験を踏まえながら、フィールドの奥深くまで踏み込むためのサスペンション、シヨートタイプのバンパー、ユーティリティ関係など、ユーザー目線の「ガチで使える」アイテムを用意。

現したデモカーの足元を飾るのは、60mmアップのサスキット「SOLEVER ACE 60」に組み合わせたワークのオフローダー向けブランド、CRAG (クラッグ) のガルバトレだ。4×4カスタムホイールの王道であるディッシュデザインを基調とし、ディスクとアウター/インナーリムの3ピース構造を採用。無骨なマッド&スノータイヤとの相性も抜群だ。ディッシュデザインにDウインドーを組み合わせ、さらにディスク全周に「Crossover Racing Gear」の凹文字。さらによく見ると、ディスク面はセンターサークルに向かって穏やかなコンケイブ (逆反り) を描いている。懐かしさとともに、現代のトレンドをうまく取り入れた逸品だ。工業製品としての性能の高さはもちろん、アウトドアシーンでも映えるそのデザイン。「あの、本格的……」と注目を集めること必至！

●クラッグ・ガルバトレは、3ピースホイールならではの楽しみとしてカスタムオーダープランも展開。2つのディスクは単色に加えて12色のセミオーダーカラー、5色のガラリズムとカラリズムクリア、5色のリムアレンジに6種のリムバリエーション、3種のピアスポルトなどをオプション設定

キャンプ場で映えるJB64W型ジムニー。でも、あまりにもその数が多くて人と被っちゃうのがイヤ……と思ったら何をする？ オシャレは足元からだ！

文=湯目由明 text by Yoshiaki Yunome
写真=ワーク/幸田太郎 photo by WORK/Taro Koda

◎ワーク ☎048-688-7555 (東日本コールセンター)
☎06-6746-2859 (西日本コールセンター) / ☎052-777-4512 (中日本コールセンター)
www.work-wheels.co.jp/

WORK ワーク クラッグ・ガルバトレ CRAG GALVATRE

遊べるジムニー

こだわりのギアを選ぶとき「本格派」「プロ御用達」「オーバークオリティ」というワードにめっぽう弱く、つい財布の紐が緩んでしまうのは筆者だけではないはず。クルマもかりで、ふだんは街乗り主体で、たまにキャンプに行く程度ならモノコック構造のSUVやミニバンで十分なのに、「本格派のオフローダー」なるフレーズにロマンを感じ、フレーム構造のクロカンに強く引かれる。1970年のデビュー以来、エンジン縦置きFRレイアウトを基本とし、頑丈なラダーフレーム構造を堅持するのがジムニー。現行JB64Wもアライメントや最低地上高の変化が少なく、悪路に強いリジッドアックスサスペンションなど伝統のメカニズムを継承しつつも、ADAS (先進安全支援システム) やクルーズコントロール、ヒルディセントコントロール、ブレーキLSDトラクションコントロールなど各種運転サポート・安全装備を盛り込むことで幅広いユーザーを獲得した。

ジムニー史上もっとも人気の高かったJAIを彷彿させるスクエアなボディは往年のファンを振り向かせ、アウトドア&四駆ブームをきっかけに新規ユーザーも増えている。そんな活況のジムニー界隈でも一置かれる存在が、老舗のジムニー専門店オフロードサービス・タニグチだ。創業は1983年。内外装からエンジン、サスペンション、ブレーキ、駆動系に至るまでジムニー向けの豊富なカスタムパーツのラインアップ数は日本一と言っても過言ではない。そんな老舗の暖簾を受け継ぐのが、